



発行／三田市役所 〒669-1595 兵庫県三田市三輪 2-1-1 ☎079-563-1111(代表)
編集／秘書広報課 ☎079-559-5040 FAX079-563-1366

ホームページアドレス <http://www.city.sanda.lg.jp/>
携帯用アドレス <http://www.city.sanda.lg.jp/mobile/>
フェイスブックアドレス <http://www.facebook.com/sandacity/>

持続可能な地域公共交通にむけて



ワークショップ参加者の意見
Aさん

その地域に実際住んでいる人の意見が聞けてよかった。シニア世代の間に迫った未来における交通手段を真剣に考えられたことがよかった。

バスや鉄道などの地域公共交通は、目的地へ行くという私たちの暮らしの『移動』を支えるとともに、そこから生まれるにぎわいや地域間の交流などのさまざまなまちづくり活動を支える役割も担ってきました。

高齢化の進展や少子化、人口減少が進行する中、地域公共交通の維持は大きな課題です。市では、今後の交通まちづくりの将来像を市民・交通事業者の皆さんと一緒に描いていくため、「三田市地域公共交通網形成計画」の策定に着手しています。

問い合わせ＝交通まちづくり課 (559-5058 FAX 563-1366)

◆暮らしの交通まちづくりワークショップ

―「乗って守り 使って育てる」地域公共交通を共に考える―

市民の皆さんが日常生活の中で身近に感じるバスや鉄道などの問題点やこうすれば利用しやすくなるのでは、といった地域公共交通について一緒に考える場として「暮らしの交通まちづくりワークショップ」を開催しました。

「乗って守り 使って育てる」地域公共交通の姿を市民の皆さんに議論していただく機会として本年も実施していきます。

◆おでかけを支えあう地域活動

―小野地区おでかけサポート事業―

小野地区では、地域ぐるみで高齢者の“おでかけ”を支援することで、外出機会を創出しながらバス利用の促進にもつながる取り組みを進めています。今後は、交通事業者とも協力しながら、楽しくバスに乗れるしかけづくりにも取り組む予定です。



【自宅からバス停までの送迎を地域ぐるみでお助けします】

住みよい住み続けたい地域づくりの第一歩として、今春スタートにむけて調整中です。

◆積極的にご参加ください

暮らしを支える地域公共交通の課題解決には市民の皆さんの参画が不可欠です。今後開催するワークショップなどへの積極的な参加をお願いします。

Cさん

近未来の自分たちの交通手段をどのようにしていくかについて積極的に考えていきたいと思った。



Bさん

バスの乗り方やお得な利用方法など地域ぐるみでPRしていこう！



3月1日、明け方から強風が三田市内に吹き荒れました。「春一番」です。昨年より9日遅いようです。厳しい寒さが続いた今年の冬もようやく終わろうとしていきます。三田の里山も少しずつ春めいてきます。

市制60周年という節目の今年には、「成熟のまちづくりへのスタートの年」です。さまざまな取り組みを始めますが、その一つに「三田の健康元年」ということで「健康」や「スポーツ」に関する新たな取り組みを始めたいと思います。子どもから高齢者まで、全ての市民が自らの「心と体」の健康づくりに取り組むことをサポートしていきます。例えば、健康づくりへの取り組みによりポイントがたまるとマイレージ制度や(仮称)ファミリアー・スポーツ・カーニバルをきっかけに、家族や地域で楽しく健康づくりに取り組んでいただければと願っています。

3月4日の「さんだノルディック・ウォーキングフェスタ2018」では、約5000人の参加者とともに、早春の里山でのウォーキングを楽しみました。三田は市街地の近くに緑豊かな自然があります。アウトドアの健康づくりには最適な地です。成熟のまちづくりには、年齢や障害の有無などに関わらず、市民誰もが、自分に合った「健康づくり」に参加し、いつまでも心と体が健康でいられるように、地域ぐるみで取り組むところから始まるのではないのでしょうか。

市長の「ほっとトーク」

成熟のまちづくりは健康から



三田市長 森 哲男

人口と世帯の動き	人口 113,308人 男 55,058人 女 58,250人 世帯数 45,763世帯	―3月1日現在―
	前月比(26人減) (35人減) (9人増) (5世帯増)	()内は前月比